



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月12日

上場取引所 東 名

上場会社名 大東紡織株式会社

コード番号 3202 URL <http://www.daitobo.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 国広 伸夫

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部経営企画部長

(氏名) 三枝 章吾

TEL 03-3665-7843

四半期報告書提出予定日 平成25年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	5,839	△2.4	220	△33.5	△24	—	△46	—
24年3月期第3四半期	5,985	△6.7	331	8.6	67	215.5	47	△23.3

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 △53百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 416百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△1.55	—
24年3月期第3四半期	1.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	22,079	4,583	18.9
24年3月期	22,764	4,636	18.6

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 4,177百万円 24年3月期 4,223百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,200	1.2	370	△4.9	50	△11.6	10	△68.2	0.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 、 除外 1社 (社名) 寧波杉杉大東服装有限公司
(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご参照下さい。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照下さい。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	30,000,000 株	24年3月期	30,000,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	64,862 株	24年3月期	64,035 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	29,935,641 株	24年3月期3Q	29,936,799 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興関連需要が引き続き下支えしたものの、世界景気の減速などを背景として全般に弱い動きとなりました。また、欧州政府債務危機やアメリカにおける財政問題など海外経済を巡る不確実性は依然として高い状況が続きました。しかしながら、先行きにつきましては、政府による金融緩和・緊急経済対策などの施策の断行による景気回復が期待されているところであります。

繊維・アパレル業界におきましては、例年以上の気温低下となって以降はコートを中心とした重衣料やマフラー・ブーツなどの防寒用品が好調だったものの、気温が高めに推移した10月が弱い動きとなったことや歳末セールも盛り上がりを欠いたことなどが響き、衣料品全体としては引き続き厳しい商況となりました。

ショッピングセンター業界におきましては、11月に前年同月比で徐々に1%を超える改善となったものの、10月の気温が高めに推移したことで秋冬商材の動き出しが鈍かったことや家電量販店の回復が遅れていることなどが響き、全体としては伸び悩む結果となりました。

このような事業環境の中で、当社グループは引き続き「中期経営計画2010～KAIKAKU～」に基づき、中核事業である「提案型OEM事業」および「商業施設事業」に経営資源を投入し「事業構造の改革」を推進するとともに、一層のローコスト経営を徹底すべく「コスト構造の改革」にも継続して取り組みました。

売上高は、寝装品部門と不動産事業が前年同期を上回ったものの、紳士服販売子会社において春夏物スーツの納品を前期から早めに進めていたことの反動減や当第3四半期前半の気温が高めに推移したことから秋冬物の販売が低調であったことなどを主因に前年同期を下回りました。損益面では、売上高が前年同期を下回ったことによる粗利額の減少を経費削減でカバー出来ず、営業利益は前年同期を下回りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は58億39百万円(前年同期比2.4%減)、営業利益は2億20百万円(前年同期比33.5%減)、経常損失は24百万円(前年同期は経常利益67百万円)といずれも前年同期を下回り、これに法人税、住民税及び事業税等を加減した結果、四半期純損失は46百万円(前年同期は四半期純利益47百万円)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(繊維・アパレル事業)

衣料部門につきましては、メンズ衣料は主として紳士服販売子会社で春夏物スーツの納品を前期から早めに進めていたことの反動減や当第3四半期前半の気温が高めに推移したことから秋冬物の販売が前年を下回ったことなどを主因に、売上高は前年同期を下回りました。レディース衣料は新規開拓・既存先強化に注力したものの、低採算取引先を絞り込んだ結果、売上高は前年同期を下回りました。

ユニフォーム部門につきましては、前年の震災による落ち込みに対する反動増に加え、民間企業向けユニフォームの受注の伸長により、売上高は前年同期を上回りました。

寝装品部門につきましては、温熱治療器の受注の伸長により、売上高は前年同期を上回りました。

この結果、繊維・アパレル事業の売上高は40億62百万円(前年同期比4.9%減)、営業損失は1億18百万円(前年同期は営業利益8百万円)となりました。

(不動産事業)

不動産事業につきましては、静岡県下有数の商業施設である「サントムーン柿田川」において、家電量販テナントなどの不振はあったものの、開業15周年記念のリニューアル工事が完了したことおよび「冬の大感謝祭ウィンタークリスマスフェア」のイベントやテレビCMの実施の効果により好調な集客を維持したことなどの結果、売上高は前年同期を上回りました。

この結果、不動産事業の売上高は17億77百万円(前年同期比3.7%増)、営業利益は6億33百万円(前年同期比2.9%増)となりました。

- (注) 1. 上記のセグメントの業績に記載している営業利益は、セグメント間の内部取引を含んだ金額を記載しております。
2. 当社の消費税等に係る会計処理は、税抜方式によっているため、記載した金額には消費税等は含まれておりません。
3. 記載している見通し等将来についての事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであり、予測しえない経済環境の変化等様々な要因があるため、その結果について当社グループが保証するものではありません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債、純資産等の状況に関する分析)

① 資産

当第3四半期連結会計期間末における総資産の残高は220億79百万円(前期末は227億64百万円)となり、前期末に比べ6億85百万円減少(前期末比3.0%減)しました。主な要因は、現金及び預金の減少1億12百万円、受取手形及び売掛金の減少2億4百万円、建物及び構築物の減少2億96百万円であります。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は174億95百万円(前期末は181億27百万円)となり、前期末に比べ6億31百万円減少(前期末比3.5%減)しました。主な要因は、支払手形及び買掛金の減少2億83百万円、短期借入金の増加18億97百万円、長期借入金の減少19億81百万円、長期預り保証金の減少1億35百万円であります。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における少数株主持分を含めた純資産の残高は45億83百万円(前期末は46億36百万円)となり、前期末に比べ53百万円減少(前期末比1.1%減)しました。主な要因は、四半期純損失46百万円を計上したことあります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、営業活動によるキャッシュ・フローで73百万円のプラス(前年同期比81.6%減)、投資活動によるキャッシュ・フローで33百万円のマイナス(前年同期は49百万円のマイナス)、財務活動によるキャッシュ・フローで1億53百万円のマイナス(前年同期は1億34百万円のマイナス)となりました。

これらの各活動に加え、為替相場の変動による現金及び現金同等物に係る換算差額0百万円のプラスを反映した結果、現金及び現金同等物の残高は8億25百万円(前年同期比17.9%減)となり、前期末に比べ1億12百万円減少しました。

当第3四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、73百万円のプラス(前年同期比81.6%減)となりました。これは主に、減価償却費4億8百万円、売上債権の減少1億94百万円、仕入債務の減少2億64百万円、利息の支払額2億42百万円によるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、33百万円のマイナス(前年同期は49百万円のマイナス)となりました。これは主に、有形及び無形固定資産の取得による支出26百万円によるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、1億53百万円のマイナス(前年同期は1億34百万円のマイナス)となりました。これは主に、短期借入金の純増加額6億64百万円、長期借入れによる収入5億円、長期借入金の返済による支出12億48百万円、リース債務の返済による支出62百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、最近の業績動向等を踏まえ、平成24年5月14日発表の予想数値を変更しております。詳細につきましては、本日平成25年2月12日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間から、寧波杉杉大東服装有限公司は寧波杉京服飾有限公司を存続会社とする吸収合併により解散したため連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間から、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社グループは、平成22年3月期(第190期)において、紳士服販売子会社の不振が損益面に強く影響を与えたことなどにより、連続して営業損失および当期純損失を計上するとともに、「サントムーン柿田川」の第2期開発および第3期開発資金や紳士服販売子会社の赤字運転資金などの負担から、有利子負債額が高水準となっております。当該状況の改善については、相当程度進めているものの、その解消には至っておらず、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当社グループは、「スリム化を進め、利益率の高い企業体質へ転換する」ことを企図し、平成23年3月期(第191期)から「中期経営計画2010～KAIKAKU～」をスタートさせ、「事業構造の改革」と「コスト構造の改革」を柱とする諸施策への取り組みを進めております。この結果、平成23年3月期(第191期)は、初年度の目標として掲げた「連結営業損益の黒字化」と「有利子負債の圧縮」について達成するとともに、財務面・損益面の改善を進めました。

平成24年3月期(第192期)についても、引き続き中期経営計画に基づき、従来の低採算のOEM事業の規模を縮小し、より高採算の「提案型OEM事業」へのシフトを進めるなど事業構造の見直しを行い、本業である繊維・アパレル事業の営業損益改善を図りますとともに、静岡県下有数の商業施設である「サントムーン柿田川」に経営資源を投入し、不動産事業の営業損益の維持・向上を図っております。加えて、協力工場のアジアシフトによる売上原価の低減や販売管理費の削減を進めております。

当第3四半期連結累計期間における経営成績につきましては、上記「1. (1) 連結経営成績に関する定性的情報」に記載のとおり、紳士服販売子会社において、春夏物スーツの納品を前期から早めに進めていたことの反動減や当第3四半期前半の気温が高めに推移したことから秋冬物の販売が前年を下回ったことなどを主因に、営業損益が前年同期を下回る結果となりました。このため、平成24年度通期の業績予想を下方修正しましたが、好調な不動産収益が下支えになるとともに、紳士服販売子会社においては気温低下に伴い12月度から復調していることなどにより、最終黒字は確保できる見通しであります。一方、有利子負債の圧縮については概ね計画通りの返済を進めたことにより、当第3四半期末の有利子負債額は100億88百万円と前期末比2億3百万円減少しております。

当社グループといたしましては、中期経営計画に基づく諸施策を確実に実施し、平成24年度通期での最終黒字を確保する見通しであることに加え、引き続き余剰営業資金により「有利子負債の圧縮」を図る計画としており、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,527,833	1,415,386
受取手形及び売掛金	1,411,382	1,206,764
たな卸資産	794,466	829,655
その他	346,451	332,006
貸倒引当金	△9,452	△8,632
流動資産合計	4,070,681	3,775,179
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,073,461	7,776,841
土地	9,343,720	9,343,548
その他(純額)	480,907	409,120
有形固定資産合計	17,898,089	17,529,511
無形固定資産		
	73,565	71,467
投資その他の資産		
投資有価証券	298,030	299,821
破産更生債権等	130,954	130,640
その他	416,433	396,019
貸倒引当金	△123,512	△123,462
投資その他の資産合計	721,905	703,018
固定資産合計	18,693,560	18,303,997
資産合計	22,764,241	22,079,177

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,321,512	1,038,137
短期借入金	2,126,516	4,024,248
未払法人税等	22,741	24,023
返品調整引当金	170,346	147,599
賞与引当金	28,572	16,497
その他	887,897	848,238
流動負債合計	4,557,585	6,098,744
固定負債		
社債	300,000	300,000
長期借入金	6,828,586	4,846,734
長期預り保証金	3,325,218	3,189,992
繰延税金負債	6,404	6,811
再評価に係る繰延税金負債	2,575,745	2,575,733
退職給付引当金	160,003	174,179
資産除去債務	60,674	55,343
その他	313,051	247,955
固定負債合計	13,569,682	11,396,751
負債合計	18,127,268	17,495,495
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,500,000	1,500,000
資本剰余金	503,375	503,375
利益剰余金	△2,336,588	△2,382,897
自己株式	△6,890	△6,939
株主資本合計	△340,103	△386,460
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△16,653	△16,666
繰延ヘッジ損益	81	388
土地再評価差額金	4,628,571	4,628,550
為替換算調整勘定	△48,660	△48,006
その他の包括利益累計額合計	4,563,340	4,564,265
少数株主持分	413,736	405,877
純資産合計	4,636,973	4,583,682
負債純資産合計	22,764,241	22,079,177

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	5,985,465	5,839,792
売上原価	4,312,883	4,386,352
売上総利益	1,672,581	1,453,440
販売費及び一般管理費	1,340,811	1,232,886
営業利益	331,769	220,553
営業外収益		
受取利息	6,159	7,162
受取配当金	3,461	3,618
その他	8,632	10,177
営業外収益合計	18,253	20,958
営業外費用		
支払利息	253,694	239,824
その他	28,824	26,170
営業外費用合計	282,518	265,994
経常利益又は経常損失(△)	67,504	△24,482
特別損失		
投資有価証券評価損	5,152	—
特別損失合計	5,152	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	62,352	△24,482
法人税、住民税及び事業税	18,342	30,845
法人税等調整額	△1,477	△465
法人税等合計	16,864	30,379
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	45,488	△54,861
少数株主損失(△)	△2,510	△8,531
四半期純利益又は四半期純損失(△)	47,998	△46,330

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	45,488	△54,861
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	24,371	△13
繰延ヘッジ損益	△577	306
土地再評価差額金	365,442	—
為替換算調整勘定	△18,253	1,326
その他の包括利益合計	370,983	1,619
四半期包括利益	416,471	△53,242
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	427,823	△45,383
少数株主に係る四半期包括利益	△11,352	△7,859

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	62,352	△24,482
減価償却費	414,258	408,474
貸倒引当金の増減額(△は減少)	7,982	△870
返品調整引当金の増減額(△は減少)	14,950	△22,747
賞与引当金の増減額(△は減少)	△16,299	△12,074
退職給付引当金の増減額(△は減少)	26,469	14,176
受取利息及び受取配当金	△9,620	△10,781
支払利息	253,694	239,824
投資有価証券評価損益(△は益)	5,152	—
売上債権の増減額(△は増加)	△223,233	194,830
たな卸資産の増減額(△は増加)	△61,465	△35,039
仕入債務の増減額(△は減少)	176,334	△264,952
預り保証金の増減額(△は減少)	△123,920	△146,569
その他	139,004	△3,339
小計	665,657	336,449
利息及び配当金の受取額	9,605	10,765
利息の支払額	△255,089	△242,257
法人税等の支払額	△20,053	△31,286
営業活動によるキャッシュ・フロー	400,118	73,671
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△8,404	△26,538
資産除去債務の履行による支出	△3,488	△5,719
投資有価証券の取得による支出	△898	△898
出資金の払込による支出	△36,759	—
その他	415	123
投資活動によるキャッシュ・フロー	△49,135	△33,032
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	934,900	664,400
長期借入れによる収入	968,643	500,000
長期借入金の返済による支出	△1,972,636	△1,248,520
リース債務の返済による支出	△59,371	△62,997
自己株式の純増減額(△は増加)	△45	△48
少数株主への配当金の支払額	△5,721	△6,084
財務活動によるキャッシュ・フロー	△134,232	△153,250
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,223	149
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	212,527	△112,461
現金及び現金同等物の期首残高	793,160	937,711
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,005,687	825,249

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	繊維・アパレル 事業	不動産事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,271,368	1,714,096	5,985,465	—	5,985,465
セグメント間の内部売上高 又は振替高	146	1,442	1,588	△1,588	—
計	4,271,514	1,715,539	5,987,053	△1,588	5,985,465
セグメント利益	8,435	615,782	624,217	△292,447	331,769

(注) 1. セグメント利益の調整額△292,447千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	繊維・アパレル 事業	不動産事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,062,738	1,777,054	5,839,792	—	5,839,792
セグメント間の内部売上高 又は振替高	84	734	819	△819	—
計	4,062,823	1,777,788	5,840,612	△819	5,839,792
セグメント利益又は損失(△)	△118,466	633,754	515,287	△294,733	220,553

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△294,733千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。